芙蓉会社内報　平成28年12月号

やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院　デイサービスふれあいルーム
芙蓉ミオ・ファミリア町田　千葉芙蓉病院
グループホームあおぞら　きゃらの樹ケアセンター

理事長挨拶

医療法人社団　芙蓉会　理事長　四ケ所　大

今年は、知人の紹介で入会した経営者向け研修会に参加したお蔭で、例年以上に新しい方々との出会いがありました。過去にも研修会、勉強会等に数多く参加して参りましたが、今回の研修会はコンセプトが独特で、毎回多くの刺激を受けております。主催者側のキャッチフレーズに「本物志向。本物と触れ合う事で経営者としての基軸、視野を拡げることが出来る」とあります。閉塞的な環境で物事を思考してしまうと、目先の事ばかりに気を取られてしまいます。多くの経験を積んだ講師の方々が、共通して話されていることは「失敗を恐れて何もしないことが一番愚かな策であり、仮に挑戦して失敗したとしても次のステップには役立つのだ」ということ。勿論、物事の度合はありますが、このような経営者の方々の経験談を聞くたびに、勇気づけられ、背中を押していただいております。

さて、当法人の最大の懸念事項である「介護療養病床の廃止問題」について、ここ数ヶ月でかなり動きがありました。H30.3 末で介護療養病床は廃止される予定で、病床の再編成が必須でありました。しかしここ最近の特別部会で、現状のご利用者の状態に合わせた病床の整備として、重篤な身体疾患を有する者（医療ニーズの高い方＝療養機能強化型 A・B 相当）、容態は比較的安定した者（老人保健施設対象者）、医療の必要性は多様だが、容態は比較的安定した者（医療外付け＝特定施設等）を想定した再編案が発表されました。今後は、来年確定される報酬金額の数値を確認し、ご利用者像を想定しながら当法人としての方向性を見出していきたいと考えております。業界全体で地域包括ケアの確立という命題もございますが、法人として目先の事ばかり考えるのではなく、ここは、三方良しの精神「ご利用者良し、事業者良し、世間良し」で取り組む所存です。

「老人は国の宝」

医療法人社団　芙蓉会（事業所一覧）

- ふよう病院
- 芙蓉ミオ・ファミリア町田
- グループホームあおぞら
- デイサービスふれあいルーム
- 千葉芙蓉病院
- きゃらの樹ケアセンター
- 千葉芙蓉ハーモニー
- 千葉芙蓉ステーション

愛を与え、喜びをもってポジティブに

医師　　渥美　正純

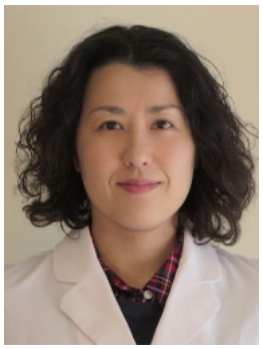
私がこの病院に就職してから約一年半が経ちました。
以前は 20 年間、川崎の地で小さな整形外科クリニックを開業していました。
私の理念は地域に密着した医療、誰でも気楽に話せる、患者さんが来て良かったと言われる手助けになることを願って歩んできました。またそれには地域との病院をはじめ、医療関連施設、学校、行政などと連携して良いコミュニケーションを保っていく大切さを痛感しました。
整形外科で対象になる患者さんは、ゆり籠から墓場までと老若男女問わず診察していました。この間にはいろいろな症例に出会い、毎日が新鮮な気持ちで患者さんのために、スタッフのためにとチームワークを保って前進続けてきました。ここまで開業もしてきた中で、感じたことはこれから高齢化社会に突入して、高齢者が残された人生をいかに楽しく、有効に送るかを私たち医療従事者だけでなく、家族、地域の方々といかに支えていくかが今後の課題でしょう。

このようなことから今後、私は今までの経験を生かして、老人介護面に力を発揮したいと思っている時に、当病院を知り、2015 年 5 月 11 日より勤務することになりました。はじめは病院内が迷路のようで右往左往しましたが慣れてきました。私は整形外科特に一般整形外科、スポーツ整形外科、リハビリが中心ですが、臨床医として一般内科の必要性も感じています。今は、リハビリのアドバイザーとして PT、OT,ST スタッフ、さらに病院の一員として、私ができる範囲で全身全霊を込めて、愛を与え、喜びをもって、いつも初心に返って、ポジテイブに歩んでいきたいと思います。少しでもこの病院のためにお役にたてば感謝です。　何卒不慣れなものですけれどよろしくお願いします。

インフルエンザの予防には

栄養科　主任　髙橋　みどり

毎年冬になると猛威を振るうインフルエンザ。感染してしまうと高熱、全身倦怠感、食欲不振等の全身症状が現れます。予防として、予防注射や手洗いうがいですが、食事にも気を配ることでインフルエンザを予防できます。
≪たんぱく質≫肉や魚、卵、大豆製品に含まれる蛋白質は健康な体作りに欠かせません。筋肉組織の素になっている為、不足すると筋肉量が低下して疲れやすい体となり、免疫力が落ち、他の感染症にもかかりやすくなります。
≪ビタミン C≫野菜や果物に多く含まれ、体内に侵入したウイルスと闘う白血球を活発化する働きがある。
≪ビタミン A（βカロテン）≫鼻や喉の粘膜が乾燥しているとウイルスが侵入しやすくなります。ビタミン A（南瓜や人参等）には粘膜を潤してくれる働きがある。
≪ムチン≫おくらや山芋、納豆に含まれているネバネバ成分のムチンはビタミン A と同じく粘膜を保護する働きがあります。また、粘りのある食材は免疫力アップにもつながります。



インフルエンザを予防するには健康的な体作りが重要です。基本的な食生活のポイントをおさえ、免疫力アップや疲労回復につながる食品をとりいれ、インフルエンザに負けない強い体を作りましょう。

院内職員研修会報告「感染対策について」
28 年 11 月開催　発表者　吉田製薬株式会社

＜テーマ＞
感染対策と手指衛生について
～実際にチェックしてみよう！～

＜内容＞
①手指衛生をマスターする３つのポイント
　タイミング、正しい手順、適切な量
②手洗いを行う５つの場面
　患者様に触れる前、清潔 / 無菌操作の前、体液に暴露された可能性のある場合、患者様に触れたり患者様周辺の物品に触れた後
③手洗いをしそこないやすい部分
　親指、指先など

＜まとめ＞
　手指衛生は感染症に最も大きな役割を果たす感染対策の「大原則」です。３つのポイントをしっかり押さえ正しい手洗いをし、感染予防に努めましょう！

院内職員研修会報告「ターミナルケアについて」
28 年 12 月開催　発表者　佐藤院長

＜内容＞
1. ふよう病院　患者様の年齢分布
2. 終末期の意思表示の留意点
3. ターミナルケアにおける延命の判断の諸因子
4. どう生きますか　逝きますか

＜まとめ＞
　ターミナルケアとは「どう死ぬか？」ではなく「どう生きるか？」だと感じました。最後の瞬間まで自分がどう生きたいのか常日頃から家族等と話し伝えておく事が大事です。私達は患者様とご家族様の要望を丁寧に伺い寄り添う気持ちが大切と感じました。

イベント・レクリエーションの重要性

介護副主任　杉江　智子

芙蓉ミオ・ファミリア町田では、ご入居の皆様に季節を感じ楽しんでいただけるよう、いろいろなイベントやレクリエーションを行っています。

生活リハビリとしておこなっているゲームでは、他者と協力することで、自分の役割や人とのつながりを感じるなど、楽しみながらちょっとした達成感を得ることができます。歌を歌うことは、声を出すことで心肺機能の維持や向上を促す効果がある他に、ストレス発散にもなりますし、その曲についての思い出を話すなどコミュニケ―ションの活性化にもつながります。お散歩は、季節の花の美しさに触れたり外気に触れたりすることで、気分転換になることはもちろん、楽しみながらの歩行訓練にもなります。このようにレクリエーションを通して日中適度に体を動かすことで、機能維持だけでなく、食欲促進や夜の眠りの質を高めるなど、生活の質を上げる効果も期待することができます。

生活の中でのちょっとした楽しみも大切です。芙蓉ミオ・ファミリア町田では、ボランティアをお迎えしてのイベントの他に、たびたび食事のイベントを開催していますが、おいしいものを食べるということは、年齢や性別に関係なく、やはり大きな楽しみになります。先日おこなったランチビュッフェなどでも、きれいに盛られた数々の料理の中からご自分のお好きなものを選んでいただき、食事を通して楽しい会話や笑顔が多く見られました。開催のしばらく前から告知を行うことで、楽しみにしていただく期間をあえて設け、待ち遠しい気持ちもイベントの一貫として、イベントを長く楽しんでいただけるようにしています。

また、中学生の職場体験や先日行われた南つくし野小学校３年生の皆さんとの世帯間交流では、当日のためにがんばって練習してきた歌やけん玉、コマまわし、トランプマジックなどを真剣な表情で披露してくれる姿に、ご入居者の皆様もたくさんの笑顔と優しさを見せてくださいました。小学生の方たちからのハイビスカスの貼り絵にメッセージを添えたカードと、ご入居者からのクリスマスの飾り用に作ったかわいいブーツの折り紙をプレゼント交換し、楽しそうにお話しされている姿が印象的でした。暖かく気持ちがひとつになった良い会になりました。

毎月お届けしている予定表のとおり、スケジュールがいっぱいのご入居者の生活ですが、日々の生活をとおして楽しみながらお一人お一人の意欲を引き出し、心身の機能の維持改善を目指すとともに、看護、介護、作業療法士、栄養科と連携を取り、これからもさまざまな企画を考えてまいりたいと思っております。

各イベントには、ご家族にもご参加いただけます。ご都合の良い時がございましたら、ぜひお知らせください。

ミオ・ファミリア町田　イベント報告

ビュッフェランチパーティー

11 月 18 日（金）３階食堂にて、ビュッフェランチパーティーが行われました。
お刺身の舟盛りや韓国風の煮物、ひじきご飯、グラタン、サンドウィッチ、そして鮮やかに盛り付けられたコブサラダなど、皆様いつもよりもお話もはずみ、楽しいビュッフェタイムになりました。
最近食欲の落ちていた、あるご入居者の見事な召しあがりぶりを拝見したと、スタッフからはうれしい報告も。栄養科スタッフも腕を振るって作った甲斐があったと喜んでおりました。

運営懇談会

12 月 17 日（土）芙蓉ミオ・ファミリア町田において第 32 回運営懇談会が行われ、９名のご家族が出席されました。四ケ所理事長のご挨拶から始まり、施設長兼看護科長より「ご入居者への医療面などの対応について」「ご入居者の状態と対応について」「重度化した場合における対応方針について」、施設長代理より「運営内容の変更事項について」、生活相談員（兼）計画成作担当者より「配慮への気づき、くもん学習療法について」、介護主任より第 16 回東日本事例発表研修会　発表内容「いつものケアから一歩前へ」～残存歯のあるご入居者を通して～、介護副主任より「芙蓉ミオ・ファミリア町田でのイベントとレクリエーションについて」、栄養科より「栄養科主催のイベント、食べやすさへのご配慮について」、ご報告させていただきました。ご多忙中の中ご出席くださいましてありがとうございました。

世帯間交流

12 月 8 日（木）世代間交流として、南つくし野小学校 3 年生の皆様がいらしてくださいました。一緒に歌を歌ったり、独楽回し、けん玉、あやとり等、練習してきてたことをいっしょうけんめい披露してくださり、ご入居者も終始笑顔。楽しいひと時を過ごしました。最後に少し早い手作りのクリスマスプレゼントを交換し合いました。

おでんパーティー

12 月 10 日（土）大根、卵、竹輪、ちくわぶ、ロールキャベツなど、事前に皆様に選んでいただいた具材を煮込んだ熱々のおでんでパーティーをしました。

ミュージックケア＆クリスマスパレード

12 月 25 日（日）クリスマスイブにはクリスマスプレートのお食事！生演奏あり、サンタさんからのプレゼントがあり楽しいひと時を過ごされました。

医療法人社団芙蓉会 芙蓉ミオ・ファミリア町田
見学随時受付中
10 周年 ご信頼いただいて
〒194-0004　東京都鶴間 544-2
TEL　042-788-3310　FAX　042-788-3312

着任の挨拶

グループホーム長　石井智美

12 月 1 日より、ホーム長をさせて頂いております石井智美（イシイ　トモミ）と、申します。

小学校 6 年生の頃から福祉の仕事に就きたいを思い、その想いがかなって現在に至っています。

認知症の方にとっては、大型施設よりもグループホーム（認知症対応型共同生活介護）が生活しやすいのではないかと言われております。小規模であるグループホームで出来るだけ自宅と同じような生活を継続できることを目標とし、グループホームの介護保険基本方針にあるように「利用者がその有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるようにするものでなければならない。」ということ常に念頭におき、自立支援を目指していきたいと思います。

微力ながら精一杯精進して参りますので、温かく見守っていただきたいと思います。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

ご入居者作品展覧会

平成 28 年 10 月 4 日～ 5 日　町田市立国際版画美術館にて、町田市グループホーム主催のご入居者作品展示会を開催し、素晴らしい作品の数々が展示されていました。あおぞらからはパッチワーク・貼り絵・お習字など多くの作品を出展し、210 名の来館者があり好評でした。

来年度も開催する予定です。今から皆様と一緒に何を作ろうかと楽しみです。

屋上で

あおぞらの屋上で午後のひとときを過ごしました。やっぱり外で過ごすと気持ちいいですね。皆様の笑顔が素敵です。

ーこの季節の楽しめる花々ー

町田花壇コンクール（入口：中庭：屋上）
　今月末、春の花壇苗を植付けます。冬の寒さや風対策、屋上と中庭の環境の違い、気象条件などに応対しながらの作業となります。来春の花壇のデザインは…まだ秘密です。応援宜しくお願いします。

皇帝ダリア
　皇帝ダリアの開花期になりました。昨年は、11/16 の開花でした。この花が咲くと、中庭に冬の訪れを感じます。すっかりこの季節のお楽しみとなりました。どうぞ中庭へおいでください

医療法人社団芙蓉会 **グループホームあおぞら** ・見学随時受付中・

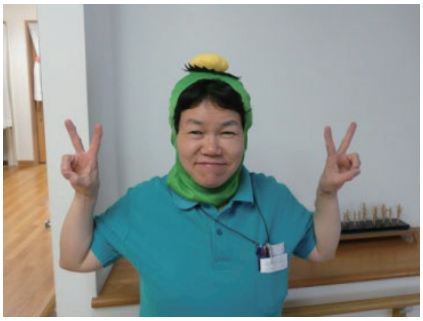
東京都町田市鶴間 544（ふよう病院内）
TEL/FAX　042-795-2634
E-mail　aozorafuyou@fuyou.or.jp
URL　www.fuyou.or.jp/machida_aozora

マジックショー

10 月 31 日ボランティアの町田マジックサークル様によるマジックショーが開催されました。
当日昼食後より準備が始まると、ご利用者も早くショーを観たいというご様子で、何となくソワソワされていました。いざショーが始まり、ご利用者の目がマジシャンの手元へ…すごい集中力でご覧になられていました。マジックのネタを見破ろうと必死な方、ただただ驚く方、さまざまだったと思います。マジックに圧倒され、良い時間を過ごされたのではないでしょうか。
ご利用者に楽しいひと時を過ごしていただけるよう、今後も色々な催しを開催していきたいと思います。

ビバ・ハロウィン

仮装した栄養科の職員がお菓子を配りに来訪しました。皆様とても喜ばれました。ふれあいルームの仮装は、かわいい阿部カエル主任。ユニフォームともバッチリ？



ふれあいルームのリハビリ

機能低下の防止を一番の目的として、個別訓練・集団訓練を実施しています。
個別訓練は 1 人 10 ～ 25 分、訓練場所は主に玄関フロア手すり使用し、間接可動域訓練、筋力訓練等を行っています。
「集団訓練」はおやつの後、約 15 分程度で、①棒体操→足の体操→歌の順番で行っています。棒体操で肩や腕の関節や筋肉を大きく動かし、足の体操でむくみ予防、歌で発声や心肺機能の活性化を図り、季節の歌をとり入れて季節感を促しています。
集団訓練で気持ちを切り替えていただき、その後に実施されるレクリエーションへとつなげています。午後からはイージーウォーク・自転車漕ぎ等の器具を使用。また、スタッフ同伴で施設内外を歩行訓練する等リハビリに努めております。

作業療法士　杉澤　裕子

ふれあいバイキング

食欲の秋！　ふれあいルームでは念願のバイキング昼食会を開催しました。各テーブルには大皿に３種のサンドイッチ、バイキングテーブルには素材や調理方法を駆使した多種多様な見事な料理。また舟盛りの刺身はとても豪華で見るだけでお腹いっぱいと皆様、笑みがこぼれました。

料理をご自分で取れるご利用者は、スタッフ付き添いのもと、好きなものを自由に取って召しあがりました。バイキング後は「安来節」のどじょうすくいを披露。上手な先輩、へっぴり腰なスタッフ、また、また笑いいっぱいでした。定例のカラオケでは、素敵な歌声を響かせてくださり、お腹も心も「喜色満面」の一日でした

あんみつを食べに行こう

ティータイムは喫茶「ひまわり」で、外出気分を味わいました。
談笑しながら、食べるあんみつは格別のおいしさ。お勘定もちゃんとご自分でしていただきました。上から見下ろすグループホームの中庭も花が咲き、景色が良くて、楽しいひと時を過ごされたと思います。
好評だったので、また場所を変えて企画します。お楽しみに！

世帯間交流

11/21(月) ～ 25（金)、職場体験で、つくし野中学２年生６名が来訪し、11/23（水）に行われたふれあいコンサートではハンドベルを披露してくれました。また、たんぽぽの園児達が散歩途中に遊びに来てくれました。

新入職員のご紹介

私でも何かお手伝いできればと思い、10 月からこちらの職場に就かせていただいております。
1 日も早く仕事に慣れ、ご利用者が楽しく笑顔で過ごしていただけるようにがんばります。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

介護職　井上　真紀

医療法人社団芙蓉会 **ふれあいルーム**
通所介護・認知症対応型　月～土 9：15～16：30
日曜日はお休みです

〒194-0004　東京都町田市鶴間 544-2
TEL　042-788-3302　FAX　042-788-3309

28年8・9月院内職員研修会報告「医療安全対策」

＜内容＞

8月26日、9月23日の2日間、院内の安全対策についての研修を行いました。療養型医療施設とはいえ、点滴や酸素吸入などを必要とする患者様が増えています。排泄やお食事などをご自分でできない方、廊下で転んだりベッドから落ちるリスクのある方が多いです。そうした患者様を、怪我や間違いから守るための安全対策です。

病棟の看護・介護職員だけでなく、医師や事務員・検査技師・栄養士など、すべての職員が連携し事故防止に取り組んでいく必要があります。事故を起こさない、という強い意識を持ち、日々の業務に励んでいきましょう。

千葉芙蓉病院　イベント報告

クリスマス会

12月22日、少し早目のクリスマス会を催しました。

各病棟の食堂に、車椅子で集まった患者の皆さん。飾りつけられた雰囲気に興味津々。２名のボランティアさんが来てくださり、芸を披露してくださいました。季節ごとの童謡・唱歌の歌声を聞いて、皆さん手拍子したり涙ぐんだり。ひょっとこ面のユーモラスな踊りには場内爆笑。また、バルーンアートでできた動物をいただいて、子供に帰ったような笑顔の方もいらっしゃいました。わずかの時間でしたが、楽しいひとときでした。

きゃらの樹ケアセンター　イベント報告

施設見学会

11 月 5 日第４回目となる千葉芙蓉病院・きゃらの樹ケアセンター施設見学会が行われ、千葉芙蓉ハーモニーのケアマネジャーが担当されるご利用者様・ご家族様計８名が参加されました。

佐藤事務長・地曳次長の進行により、各施設の職員が自己紹介。その後、参加者様に職員が同行して各施設をご覧いただきました。

昼食はきゃらの樹ケアセンターで入所者様と同じ昼食を召し上がっていただきました。管理栄養士よりメニューの説明をすると、食後は『食事､美味しかったです』とお言葉を頂戴しました。お客様の中に 10 年以上前にご利用いただいた方のご家族がおられ、リピート利用して下さる可能性があるようで、施設のこれまでの実績に自信がつきました。

カラオケ大会

11 月 14 日カラオケ大会が開催されました。総勢 69 名のご利用者様の参加でした。

職員はご利用者様に順次リクエストを聞きにまわり、率先して選曲する方・『人前で歌うのはちょっと恥ずかしい…』という方・『私、歌はうたわないわ』という方も、ご自分が選んだ曲のイントロが流れるとテレビ画面の映像に集中。歌い始めは緊張から表情が少し固くマイクを持つ手が震えていましたが、曲が終わるころには気分はベテラン歌手。上手に歌えた達成感からか微笑みがみられていました。他、数名の方においてはリクエスト曲に登録がないため、アカペラでフロアに響きわたる澄んだ声で歌を披露されました。

松丘中学校による交流会

12 月 8 日君津市立松丘中学校生徒会との交流会が利用者様 25 名・生徒 12 名（先生 3 名）により実施されました。

まずは生徒さん達の自己紹介から。大きな声で元気良く発表している姿にご利用者様は目を細め、時に笑い声も交じり一人ひとりに拍手をされていました。

次に４つに分かれ風船バレーと魚釣りのゲーム。風船バレーは風船を落とさず打った回数、魚釣りは釣りあげた魚の裏面に書かれている点数の合計でみなさま真剣に競いあいました。

続いては生徒さん達によるソーラン節の踊り。エネルギッシュな踊りで利用者様・職員はパワーを頂戴しました。

最後は季節にあった 4 曲を全員で合唱し、終了となりました。

医療法人社団芙蓉会　きゃらの樹ケアセンター

見学随時受付中

〒292-0503　千葉県君津市広岡 375－３

TEL　0439-50-7333　FAX　0439-50-7399